

「お客さまの喜びがりそなの喜び」という  
基本姿勢を貫き、  
「リテールNo.1」を目指し、  
一步一步前進しています

2017年3月期の日本経済は、雇用・所得の着実な改善や米国を中心とした堅調な海外経済を背景に、緩やかな回復基調が見られた一方、マイナス金利の影響など金融機関を取り巻く環境は大変厳しいものでした。

こうしたなか、当社連結の実質業務純益は、低金利環境下での預貸金利回り差の縮小や債券関係損益の減少などを、貸出金の増加や堅調な法人ソリューション収益、ローコストオペレーションの徹底などで一部補完したものの、前期比568億円減少の2,182億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、与信費用の改善などもあり、前期比223億円減少の1,614億円となりました。なお、不良債権比率は1.35%、自己資本比率は11.69%と、健全な財務体質を維持しています。

本年2月には、コンサルティングを通じて最もふさわしい資産配分を提案する「りそなファンドラップ」の取り扱いを開始、6月には1,000億円を超える残高となりました。また、セブンデイズプラザを年間で3拠点開設、5月に開設した2拠点を含め、年中無休店舗は、全国16拠点体制となりました。海外では、1月にシンガポールの金融機関AFC Merchant Bankの株式を取得し、子会社化することを公表させていただくなど、国内外のネットワークを拡充しています。さらに、3月には、「関西の未来とともに歩む新たなリテール金融サービスモデル」の構築に向け、みなと銀行、関西アーバン銀行および近畿大阪銀行の経営統合に関する基本合意について公表しました。

本年4月より、新たな中期経営計画～Change to the “Next”～がスタートしています。成熟社会の進展、テクノロジーの進化など、社会・産業構造の変化をビジネスチャンスと捉え、より多くのお客さまに、いつでも・どこでも、最適なソリューションを提供する「次世代リテール金融サービスモデル」を構築してまいります。

りそなグループは、「お客さまの喜びがりそなの喜び」という基本姿勢を貫き、地域のお客さまに最も支持され、ともに未来へ歩み続ける「リテールNo.1」の金融サービスグループを目指して、企業価値の最大化に努めてまいります。

今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年7月

株式会社 りそなホールディングス 取締役兼代表執行役社長  
株式会社 りそな銀行 取締役会長兼代表取締役社長

東 和 浩

